

学園 ニュース

愛情教育とキャリア教育を深化させた学園へ

学校法人 菊武学園 理事長 高木 弘恵



菊武学園に学ぶ生徒、学生、園児約3000名の保護者の皆さま、教職員の方々、日頃のご支援、熱心な教育活動に、心よき感謝申し上げます。

ポーツビジネスコースが開設されて5年目に入りました。1年を振り返ってもウエイトリフティング部、ボウリング部では、日本トップクラスの選手を輩出して

2020年には半世紀ぶりの東京オリンピック開催で、日本中が沸き立っています。名古屋産業大学にス

が、その志は学園のスポーツ選手ばかりでなく、多くの在校生に目標を持つ大切さを示してくれました。高山選手はアマチュア登録に際し、多くの皆さまからいただいた支援に改めて感謝

います。プロボクシングの元世界チャンピオンの高山勝成選手がアマチュアに登録して東京五輪を目指しました。

長に就任し10年以上たちますが、とりわけ、学園の教育理念である「愛情教育」は、事あるごとに強調し、学園全体に理解が広まったと感じています。相手を思いやり、学生・生徒らに寄

の言葉を述べ、次は教員免許の取得に向けて走り出しています。

大切なのは、学生・生徒らをいつも見守り、ちょっとした変化をいち早く感じ取って、声掛けることです。声をかけることによって、学生・生徒らは、周り

り添い、自立を促す愛情教育は、創設者の学園長が大切にされてきました。私も次の10年、80周年を見据えて愛情教育をこれからも守り続け、より深化させていきたいと考えています。

を、キャンパスや学校内で自分の居場所を見つけやすくなると思うからです。厳しくもあり、優しくもある愛情教育で、社会で生きるための力を身につけてほしいと願っています。

そしてこの先さらに時代の変化に対応するため、力を入れていきたいのは、キャリア教育の充実です。教育現場で実践するカリキュラム、手法は、時代のニーズに合わせて、多様性を持たすことが大切です。新しい視点の実践教育を強化し、在校生の活躍を教職員の皆さんと共に愛情を注ぎ、支援していきたいと思

創立50周年を祝う 菊武幼稚園 幼児教育の重要さ 再認識し未来へ



▲園児 70 名の合唱ではじまった創立 50 周年記念式典



▲園児の人文字で創立 50 周年を祝う

菊武幼稚園の創立50周年記念式典が6月21日、春日井市民会館大ホールで開か

れました。在園の全園児218名とそ

の保護者、学園関係者ら約450名が参

列し、園の歴史をかみしめ、卒園児は3466名を数えます。50周年を機にさら

ンマンマーチ」などを演奏し、10月14日の運動会では園児たちは「50周年」のマー

式典は、まず年長園児70名による園歌の合唱ではじまり、石原靖章園長が「菊武幼稚園は昭和44年に創立

の高木弘恵理事長が「幼児教育の重要性がますます高ま

クをつけ演技しました。

続いて学校法人菊武学園の元音楽愛好家として活動している「春日井リコーダーアンサンブル」(山中美代志代表)の8名が、「アンパ



▲石原靖章園長の祝辞



▶年長園児による園歌の合唱



▶春日井リコーダーアンサンブルの演奏



▶園児がかわいい演技を披露する

全国植樹祭で菊華生徒らダンスを披露 新天皇皇后さまから温かい拍手

愛知県森林公園で令和元年6月2日に開催された「第70回全国植樹祭」に、菊華高校ダンス部・演劇部員ら約30名が、祭アトラクションでダンスを披露し、盛大な拍手を送られました。

名産大生らは 救護班で活躍

感も流れる中、生徒たちは青と白のドレスに装い、約1万人の参加者の前で、木曾の木が川を下り伊勢湾に届く愛知のものづくりの物語を笑顔で演じました。

また、名古屋産業大学と名古屋経営短期大学の学生

有志9名は、ボランティアとして特別招待者の医療救護班として、会場2か所で活躍しました。学生・生徒たちは、記念すべき一日に参加し、貴重な経験を積むことができました。



▲大学前の沿道の市民らに手を振られる皇后さま

即位後、初の地方公務員として全国植樹祭にご臨席された天皇皇后両陛下は帰路、名古屋産業大学・名古屋経営短期大学前をお通りになられ、沿道の大勢の市民らにこやかに手を振られておられました。



▲大学生らはボランティアとして活躍



▶アトラクションでダンスを披露した菊華高生徒たち



▲菊華高校ダンス部・演劇部員

自分を守ることが周囲を守るにつながる 菊華高、菊専生徒14名が 東北ボランティア参加

菊華高校の生徒8名と菊武ビジネス専門学校の生徒6名が2019年8月5日～8日の3泊4日で、東北ボランティアに参加しました。宮城県仙台沼市に向かい、命の尊さや人との関わり大切さを学びました。



▶東北ボランティアに参加した生徒

「海の見え方の見え方」の整備を行い、語り部ガイドによる当時の状況と今を聞き、地域住民との交流を通して震災を乗り越えたからこそ抱える想いを学ぶことができました。

語り部ガイドから当時の状況と今を聞くことが、ボランティアに参加した私たちの使命と胸に刻んでいました。



菊華高 運動部活動で活躍

- サッカー部**
全国高校選手権県大会出場
名北支部大会 優勝
市民スポーツ祭 準優勝
- ボクシング部**
県大会フライ級 優勝
- ソフトテニス部**
県高校総体 団体 ベスト4 東海大会出場
個人 ベスト16
新人体育大会団体・個人 県大会出場
- 野球部**
夏の県大会 4回戦進出
秋季県大会 2回戦進出
- 卓球部**
国体県大会出場
- ダンス部**
全日本高校・大学ダンスフェスティバル 入選
NFCC・全国ハイスクールダンスコンペ 3位
- 陸上部**
新人体育大会 県大会出場
- 新体操部**
高校総体県大会男子 個人総合 5位



菊華高 キャリア教育推進

菊華高等学校

生徒33名が、多様な仕事を体験

菊華高校では2019年の夏休み、1年〜3年までの生徒延べ33名（情報ビジネス科15名、普通科男子10名、女子8名）が、就労体験のインターンシップに取り組みました。

病院や日産プリンス名古屋販売、また愛知県中小企業家同友会からご紹介していただいた11事業所をはじめ、総計15事業所で、さまざまな職種でのインターンシップ体験を行うことができました。生徒たちにとって「働くとは何か」を考える、よい機会になりました。



▲インターンシップに取り組む菊華高校生

菊武ビジネス専門学校

パソコン入力のスピードを競う

中学生100余名が挑戦

有松中生徒に栄冠

学校創立70周年を記念してスタートした「パソコン入力スピードコンテスト」の第2回大会が、7月30日に開催されました。

中学生108名が参加して真剣な眼差しで、パソコン入力のスピード、正確さに挑戦しました。1648字を入力した有松中学校の生徒が優勝。日本情報処理検定協会より優勝者は初段、2位か



▶真剣な眼差しで大会に挑戦する中学生

キーボードでベストプレイヤー賞を獲得 菊専の軽音楽部が県大会で健闘

菊武ビジネス専門学校軽音楽部が、稲沢市での愛知県高校軽音楽大会に初参加しました。キーボード部門では優れた演奏者が表彰されるベストプレイヤー賞に輝きました。全体の審査結果では審査員から厳しい指摘を受けるも、参加した生徒たちは挫けず、次回も頑張りたい」と語っていました。



▶演奏する軽音楽部

稲葉保育園

園児たちが星に願い 短大生との一緒に七夕飾り

稲葉保育園児たちが7月1日、名古屋経営短期大学子ども学科1年45名と一緒に七夕かざりをつくりました。色紙を使って1、2歳児は「魚」「輪つなぎ」、3歳児は「三角つなぎ」「輪つなぎ」、4歳児は「吹き流し」「三角つなぎ」、5歳児は「貝殻つなぎ」「流れ星」作りを、学生たちと楽しみました。園児たちは出来上がった飾りを笹の枝に



▶七夕かざりをつくる園児と短大生

学校法人菊武学園財務諸表 平成30年度 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

資金収支計算書		活動区分資金収支計算書		事業活動収支計算書		貸借対照表	
科	金額	科	金額	科	金額	科	金額
学生生徒等納付金収入	1,713,654	学生生徒等納付金収入	1,713,654	学生生徒等納付金	1,713,654	固定資産	12,683,542
手数料収入	26,684	手数料収入	26,684	手数料	26,716	有形固定資産	10,691,267
寄付金収入	5,737	特別寄付金収入	197	寄付金	6,815	特定資産	1,970,063
補助金収入	638,869	一般寄付金収入	5,540	経常費等補助金	610,862	その他の固定資産	22,212
資産売却収入	200,001	経常費等補助金収入	610,862	付随事業収入	13,664	流動資産	1,327,235
付随事業・収益事業収入	13,664	付随事業収入	13,664	雑収入	45,822	現金預金	1,225,348
受取利息・配当金収入	8,730	雑収入	45,577	教育活動収入計	2,417,533	未収入金	※1 79,815
雑収入	46,470	教育活動資金収入計	2,416,178	人件費	1,646,660	その他	22,072
前受金収入	443,069	人件費支出	1,639,088	教育管理経費	958,315	資産の部合計	14,010,777
その他の収入	256,136	教育管理経費支出	670,752	徴収不能額等	399	固定負債	426,251
資金収入調整勘定	△ 513,083	教育活動資金支出計	2,309,840	教育活動支出計	2,605,374	長期借入金	30,000
前年度繰越支払資金	1,245,179	調整勘定等	39,440	教育活動収支差額	△ 187,841	退職給付引当金	358,761
収入の部合計	4,085,110	教育活動資金収支差額	145,778	教育活動外収入計	8,730	長期未払金	37,490
人件費支出	1,639,088	施設整備等活動資金収入計	28,008	教育活動外支出計	990	流動負債	667,031
教育管理経費支出	670,752	施設整備等活動資金支出計	236,434	経常収支差額	△ 180,101	短期借入金	* 34,439
借入金等利息支出	990	調整勘定等	△ 15,434	特別収入計	29,206	未払金	※2 51,962
借入金等返済支出	43,212	施設整備等活動資金収支差額	△ 223,860	特別支出計	5,187	その他	580,630
施設関係支出	198,724	その他の活動資金収入計	402,180	特別収支差額	24,019	負債の部合計	1,093,282
設備関係支出	37,710	その他の活動資金支出計	343,930	基本金組入前当年度収支差額	△ 156,080	純資産の部	
資産運用支出	290,063	調整勘定等		基本金組入額合計	△ 33,920	基本金	18,031,444
その他の支出	55,273	その他の活動資金収支差額	58,250	当年度収支差額	△ 190,000	第1号基本金	17,753,444
資金支出調整勘定	△ 76,049	支払資金の増減額	△ 19,832	前年度繰越収支差額	△ 4,923,949	第2号基本金	90,000
翌年度繰越支払資金	1,225,347	前年度繰越支払資金	1,245,179	翌年度繰越収支差額	△ 5,113,949	第4号基本金	188,000
支出の部合計	4,085,110	翌年度繰越支払資金	1,225,347			繰越収支差額	△ 5,113,949
						翌年度繰越収支差額	△ 5,113,949
						純資産の部合計	12,917,495
						負債及び純資産の部合計	14,010,777

※1 未収入金には愛知県の授業料軽減の為の償還補助金4,439千円が含まれ、その補助金により*短期借入金4,439千円が直接返済されることになっています。
 ※2 未払金には期末退職者退職金が32,431千円含まれています。
 ※ 減価償却額の累計額の合計額7,400,152千円

単位 千円

躍進ぶりを尾張旭市長に報告

名産大ウエイトリフティン グ部



▶森和実市長とウエイトリフティン グ部

令和元年は名産大ウエイトリフティン グ部にとって飛躍の年となり、8月30日に尾張旭市の森和実市長を訪問し、活動状況を報告しました。

大学院生の山本真鼓さんは、全日本ウエイトリフティン グ選手権64キロ級で優勝。山口優人さん(1年)は、2019年世界ジュニア選手権大会で3位に輝き、続いて西日本学生選手権大会で、ジュニア日本新記録を樹立し優勝しました。

菊武夏まつり
多くのイベントを展開



▶1人乗り移動支援ロボットに注目のが

令和初となる「第13回菊武夏まつり」は8月24日、名古屋産業大学と名古屋経営短期大学尾張キャンパスで開催されました。子ども連れの市民ら約2500名が訪れ、地域の交流に歓声がわき上がっていました。学生たちの模擬店に舌鼓を打ち、市内3中学校の吹奏楽に盛大な拍手が送られていました。東京パラリンピックの正式種目であるボッチャのコーナーでは、市民らが一度は体験してみたいと、熱心に取り組んでいました。また、1人乗りの移動支援ロボット「スマートモビリティ」も登場し、小学生から大人までが興味津々に体験乗車していました。

名産大大学院修了の高木さん
環境で学術論文奨励賞を受賞

名古屋産業大学大学院 した高木祥太さん(31)のを2019年3月に修了

環境教育に関する研究が、全国の環境研究者1000名以上が参加している学術団体「環境情報科学センター」(大塚直理理事長)の学術論文奨励賞を受賞しました。

2019年6月17日、東京で表彰式及び受賞者講演が行われました。環境情報科学分野に関する40歳未満の研究者に贈られるもので、高木さんは、



▶表彰を受けた高木さん 伊藤雅一教授、岡村聖教授の指導を受けながら、地道な努力を重ね、「生活環境圏におけるCO₂濃度データの検証と環境教育への応用に関する一連の研究」が認められました。

名古屋産業大学、大学院で



▶模擬店に市民らが舌鼓

10月12日、13日に開催する予定だった名古屋産業大学と名古屋経営短期大学の合同祭は大型台風の影響で中止となりました。

名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院

プロに混じって華やかなブライダルショー
NWF Bの学生が貴重な学びを体得



9月14、15の両日、松坂屋名古屋店において開催された2019秋のブライダルフェスタに、名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院(NWF B)の学生が出演し、模擬挙式はNWF B学生による模擬挙式とヘアスタイリングショーを行い、多くの高校生が見学に訪れていました。15日は「タカミライダル」による最新のウェディングドレス・着物・タキシードの華やかなファッションショー。学生はプロのモデルと共にステージを歩く経験ができ、来年2月の卒業作品展に向けて貴重な学びとなりました。



ファッションショー